

地域密着型サービス評価の自己評価票

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>				
1. 理念と共有				
1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	畑を所有し、市民や近隣の方と交流を図りながら、園芸作業による精神安定と、旬の野菜や季節の花で、回想を助けています		
2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カードを携帯し確認するとともに、日々の生活を大切にしています	○	職員全体が、情報の伝達を行い、理念の実践が出来るよう信頼関係を高めていきたい。ケアの向上に向けての取り組みとして、職員へのアンケートをパソコン入力(記入者が特定できない)とし、本音の部分が引き出せるようにし、広く意見を集めて実践に役立てている。
3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議の開催、地域作品展、地藏盆等参加時の啓発など。清掃活動や美容室・商店利用時等に交流を通じて理解を呼びかけています	○	地域で、認知症についてやGHについての説明会や見学会等を開催したい。定期的に話し合いの場を持ち理解を深めていきたい
2. 地域との支えあい				
4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	玄関先にベンチを設置。近隣の方が利用されたり交流の場になっている。職員は常に挨拶を心がけ、日常会話を大切にしています。町内の見守り老人の方の情報交換など行っています	○	敷居が高い。用事がない。などの意見をいただくが、玄関先だけでなく、気軽に中まで入ってきてもらえるように働きかけていきたい
5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入。地域の清掃活動等に参加。近所の産地直売所で、出品者や買い物の方との交流を図っています		

グループホームさくらプラザ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	独居老人の見守り体制や、緊急時の救護や避難誘導要員で協力できることを申し出ています。健康相談やサービス利用の相談などを受けています		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	チーム(生活支援・家族支援・職員支援)で検討し生活の向上に努めています	○	新たに職員支援チームを編成。利用者様の援助とともに、支える職員の援助も検討しています
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	職員では意識しないような点で指摘を頂いたり、勉強になることが多い。門扉設置予定の意見でも、地域と景観に配慮した熱心な意見をいただき、町内の住人として捉えていただいていることを実感しました。裏に建ったスーパーとの係りについてもアドバイスを頂き対応することが出来ました		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	集団指導への参加。他の市の事業(介護相談員・キャラバンメイト)への協力・参加を通じ、連絡や情報交換を行っています		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修やネット等の情報により自己研鑽に努めている。必要時は、他の職種と相談・連携をとりながら活用できる体制をとっている		
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修会の参加や書籍での啓発。委員会よりの事例報告などを通じて、意識を高め防止に努めています。緩和ケアや尊厳のある生活を勉強して援助に繋げています	○	研修の機会を増やし意識を高めていきたい。皆で重大性を認識し、援助内容を注意深く見つめて検討していきたい

グループホームさくらプラザ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	重要事項説明書を用いて分かりやすい説明を心掛けています。面談や電話等で対応しています	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	日常生活の中で、話を聞くことに努めています。意見箱や苦情対応、介護相談員の話等を活用しています	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	金銭管理については、立替払いで領収書を送付し毎月報告しています。生活全般については、年4回の個人お便りと、毎月のさくらプラザ通信にて情報の発信を行っています	
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	交流会や面会時等に職員並びに、他のご家族様と話をする機会を提供しています。外部相談窓口の案内を行っています	○ 家族チーム内で、ご家族様へのアンケート(満足度調査)の内容を検討中。実施には至っていない
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	チーム内で検討した内容を、月1回のミーティング時に確認・検討を行い改善や向上に努めています。運営者についても常に相談できる状態にあり、月1回の運営会議の設置もあります	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	希望を受け入れる体制の確保を行っています。夕方の不穏や夜間入浴に対応するため、2時間のみの職員を配置しています	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	利用者様への紹介や声かけとともに、職員に対しては、利用者様の特徴を把握しスムーズに援助が行えるよう助言・指導を行ったり、しばらくの間ベテラン職員と勤務を重ねて対応しています	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>院内研修や外部の研修を活用し、勉強の機会を設けています。外部研修等の案内を行っています</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH連絡会への参加や職員交流研修等を通じて職員同士の交流の機会を確保しています。今年4月に舞鶴市内のGHが集まって連絡会が発足し加入しています</p>	<p>○ 舞鶴GH連絡会で座談会を開催し職員間の交流を図った。10月は当施設がホスト役となり、座談会又は研修会を計画しています</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩室と時間を確保。また、チーム内・職員間での意見交換や、親睦会行事を通じてストレスの軽減に努めています</p>	<p>○ 職員チームからの提案により、引継ぎノートの支給や、購読図書の援助などを行って、環境改善やストレス軽減に努めています。心置きなく話し合える環境づくりを目指していきたいと思っています</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>往診時等に職員と会話する機会を持ち、職員の特性やホームの現状把握に努めています。資格試験受験の便宜や能力給の採用。事業所外活動への理解等をされています</p>	
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居までに面接を行い、本人の理解されている状況を確認。不安の軽減に努め、ご家族の理解と協力をお願いしています</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面談や書類の説明、引越しの相談等時に話を聞き、ホームへの理解を深めて頂くとともに不安の軽減に努めています</p>	

グループホームさくらプラザ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人の将来像のパターンを説明し、必要のある場合は、特養や他のGHの紹介・在宅サービスの説明を行っています。ケアマネージャーと連絡を密にし対応を行っています		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	事前の見学をお願いしています。入居前にご本人と何度か面談し顔つなぎを行っています。入居後は、ご家族・知人の協力をお願いし、落ち着いて生活していただけるよう努めています。可能な限り在宅や以前の生活スタイルを大切にし、使い慣れた生活用品で暮らしていただいています		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	家事や日常生活を通じて、ご本人の得意なことや好きなことを探り、話を聞いたり教えて頂くことにより、役割の確立に努めています。会話がたくさん出来るように、声かけを心掛けています		
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	お便りや電話、面会時に担当職員等が話をする機会を得て、ホームでの生活をお伝えすることにより、距離感を縮め、絆の再確認をしていただき、利用者様に必要な援助の提供にご協力いただいています		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	年賀状や母の日の外出等の機会を提供し、家族内での思い出の共有や、ご本人の役割の復活、より良い人間関係が保てるように努めています	○	今年は、母の日にご家族様と一緒に外食へ行きました。食後、海岸でゆっくりしたり、つつじの花を觀賞したりと楽しい時間を過ごしました。今後は遠方のご家族様への対応も検討していきたいと思っています
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	カラオケの発表会や墓参り、馴染みの美容室や商店への援助など、個人に応じて出来る限り対応するように努めています		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	年長者や体調の悪い方を自然と気遣られたり、ご飯や掃除、ラジオ体操の声かけを互いにされています。不安や訴えに親身に話を聞かれたり、相談にのっておられることも有ります。落ち着いた生活を送っていただけるよう心掛けています。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院先への見舞いや施設への面会を行っています。利用後もご家族様から差し入れや手紙・相談を頂くことがあり、担当職員や管理者で対応しています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族への聞き取り、意向の確認を行い、ご本人が落ち着いて生活できるように心掛けています		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人やご家族への聞き取りや、サービス事業者からの情報提供などを元に把握に努めています		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ミーティングで現状を検討し、個人に応じた対応を心掛けています		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	毎月のミーティング時に現状を検討し、ご本人・ご家族の意向に沿う形での援助の内容を検討しています		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	現状に応じて、ご本人・ご家族と相談し援助内容を変更しています		

グループホームさくらプラザ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録及び、担当職員の報告と併せて情報を共有し、実践に活かしています		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご本人・ご家族様の多様な要望に応じられるよう努めています		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域の幼稚園との交流や、民生委員との連携を行っています。消防・警察の年1・2回の訪問や、必要時の協力・助言を仰いでいます		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	通所系サービスの検討や、福祉用具事業者とのかかわりを通じて、ご本人・ご家族様に情報の提供や提案を行っています		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	今年の4月に地域包括支援センターが編成され、より身近な窓口として設置された。今後も連携を図りながら、利用者様や地域の方の生活を支えて行きたいと思っています		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族対応をお願いしているが、諸事情により対応できない場合、職員で通院援助や入院援助を行っています。また入居時に主治医の指定をお願いしており、かかりつけ医等に継続して往診していただける体制をとっています		

グループホームさくらプラザ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>		
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>		
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>		
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>		
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>		
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>		



項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室・トイレ・入浴・共有スペース内においても、プライバシーに配慮した援助に努めています。声かけの仕方や話す内容にも気をつけながら会話するように心がけています	
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	選択肢を用意する。わかりやすく簡潔に。返事を待つ。言いたいことが云える援助。を心がけています。ご本人の人生歴や生活習慣を把握し、それに即した援助に努めています	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	体調等を見て希望を聞き提案を行って1日の流れを作っています。活動の不活化にある方に対してはこちらからお願いするようにしています	○ レクリエーションや趣味を持っている方には一緒に時間をかけて行っていきたいと考えています
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	行きつけの美容室への援助等、馴染みの関係を築けるように心がけています。服装や小物についても季節に応じた話題の提供や購入を行っています。顔マッサージ・外食時のおしゃれ等の援助を行っています	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日のメニュー決め等で、選択の機会を設けています。調理や食事時に話題を共有したり、「おいしいね」と言える環境づくりに努めています。片付け等も体調に応じて行っています	○ 声かけをしなくても、自発的に調理や後片付けをしていただけるような環境づくりを模索しています
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	個別の食品の購入やお酒・おやつ等の提供など、希望に応じて声かけ・対応を行っています。食欲不振の方に好きなもの(プリン・パン・巻きずし・バナナ等)を補食として用意しています	

グループホームさくらプラザ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	最小限の使用を目標に、体調や状態に合わせて使い分けています。個人に合わせた声かけを行い、失敗時も尊厳に配慮した対応を心がけています。その日の気温や調子によってパターンが変わるため見極めを心がけています		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回の入浴の機会を確保し、希望に応じて時間や回数等に対応しています		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	入眠時間や睡眠パターンを考慮し、入浴・傾聴・間食等の入眠環境の整備等を含めた援助を行っています		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	歌・鑑賞会・ドライブ・買い物・畑・散歩等の援助を行い、傾聴を大切にし、個人の得意分野で力を発揮していただけるよう努めています	○	楽しみごととして、バレンタインの自分チョコは利用者様に好評で職員も嬉しく感じました。また、月1回和菓子の日を設け、外部の方にお茶を点てて頂いたりと取り組んでいます
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人の能力に応じて、小銭の管理やレジ等での支払い(ホームの買い物)の援助を行っています	○	自分で所持されている方も、自分のお金を使用されないことがないので、買い物等で、計算したり使用する機会を増やしていきたいと考えています
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物やドライブ。散歩。畑等、希望に応じて対応しています		
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	外食・実家・墓参り・コンサート・落語会・作品展・祭り・運動会・温泉・遠出等、検討のうえ出来る限りの対応を行っています	○	今年は、母の日外食を企画しご家族様と一緒に食事や散策を楽しみました。魚釣りに行きたいという希望があり全員ですが海釣りを楽しみました

グループホームさくらプラザ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話等の対応や、季節の便り等の援助を行っています		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	談話室やこたつ・ソファ等、自室等で、快適な時間を過ごしていただけるよう心がけています		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	「身体拘束ゼロ」冊子を活用し、周知を図り実践を行っています。法人内に設置されている委員会より助言・指導を受けています		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	安全確保のため、夜勤帯や1人勤務時は、事務所と玄関の施錠を行っています。職員はその重大性について理解してケアにあたっています		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	日中の見守りや、夜間の2階共有スペースのカメラによるチェック。夜間の巡視等で、所在の確認や安全の確保に努めています		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬・消毒薬・洗剤・刃物・火器・裁縫箱・食品等、状況に応じた保管と管理を行っています。また、個人の能力に応じた部屋作りを心がけています		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	防災センターでの体験学習や蘇生法。誤嚥・窒息時の対応等の勉強会を通じて知識と技術の向上を図り、危険予測に気を配っています。事故報告書を職員で共有し、教訓・対策としています	○	新入職員の教育・研修等に力を入れていきたいと考えています

グループホームさくらプラザ

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	<p>年1回の蘇生法の講習や、日常で医師や看護師等の指示や指導を受けて、知識・技術の向上を図っています</p>	
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>年4回の避難訓練の実施等を通じて、利用者様・職員・近隣の住民が協力して有事に当たれるように心がけています。地元の消防団に協力を依頼。市役所・消防等と連絡や相談を行っています</p>	<p>○</p> <p>今年3月に隣家(2軒隣)より火災が発生した際、他の部署の応援職員や市役所職員が駆けつけ、事業所外への避難には至らなかったが、近隣の方も含め多くの人員が確保できる事がわかって心強かった</p>
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている</p>	<p>現状や将来像、起こりうる事象の可能性について、説明・相談を行っています</p>	
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>毎日の血圧測定等の健康チェックを始め、急変時の観察を行い、職員・管理者、及びかかりつけ医に連絡・報告し、早期の対応に努めています</p>	
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方薬情報提供書や申し送り等で、指示や主作用・副作用を確認し、確実な援助と観察を心がけています</p>	<p>○</p> <p>新入職員等で、薬の作用や用法などの把握が不十分な場合があり、徹底が課題になっています</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>食物繊維の多い食品の選択や摂取、水分補給、体操、温罌法、マッサージ等の援助を、個人に応じて行っています</p>	
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>個人の状況や生活習慣に配慮した援助を行っています。義歯の方については、入浴時に職員が必ず口腔ケアを行い、観察や清潔の保持に努めています。歯科医師の指示を仰いで援助を行っています</p>	

グループホームさくらプラザ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	嗜好や適量の把握に努め、月1回の栄養指導で助言を得ながら援助を行っています		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	法人内と事業所にマニュアルがあり、それに沿った対応をしています	○	職員支援チームが、インフルエンザの啓発プリントを作成し配る等、自発的に活動しています
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	栄養士の指導を受けたり、勉強会に参加して知識を深め、衛生管理に努めています		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関先のスロープ・ベンチの設置。植物の育成等を通じて、環境づくりに取り組んでいます		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	絵画や花を飾ったりと四季を大切にしたい援助を心がけています		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	こたつ・ソファ・ベンチ・談話室などのスペースを設け、対応をしています		

グループホームさくらプラザ

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みのある物の持ち込みを家族等をお願いしています。状況に応じた環境づくりを心がけています(床生活・板の間等)		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気や空調管理に配慮し、季節を感じてもらえるように心がけています		
<b>(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	危険が予測されるものへの対応や、手すりの設置等で工夫を行っています		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個人の能力や不安に対して把握に努め、意識して声かけを行うことによって、落ち着いて生活していただけるよう心がけています		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	花や作物を育てて、草取りや水撒き、収穫を楽しんでいます		

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
		○	③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている		①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
		○	③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
		○	③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

グループホームさくらプラザ

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
		○	②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くない
98	職員は、生き活きと働けている		①ほぼ全ての職員が
		○	②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての利用者が
		○	②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		①ほぼ全ての家族等が
		○	②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

○季節を感じて頂く為の外出。外食。行事等に取り組んでいます。

○毎朝のラジオ体操（ほとんどの利用者様が参加。これからも継続して取り組み、体力低下を防止していきたい)

○家族様への写真付きお便り（ご本人の暮らしぶりをお伝えしご家族との絆を大切にしたい)